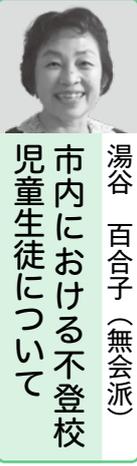


一般質問



湯谷 百合子（無会派）
市内における不登校児童生徒について

問 学校に足が向かない児童生徒支援として、黒浜北小学校に教育センター（エコー）がある。エコーは火、水、木曜日のみ開室。なせ月、金曜日は開けないのか。

答 指導員の確保が難しいためです。

問 近隣では、週5日開いている。行きたい時にいつでも行けることが大事。しっかり人材を確保して開けるべき。いかがか。

答 今後、他市町の情報を集め研究していきます。

問 令和元年10月25日に文部科学省は、不登校の最終目標を見直して、最終目標は学校復帰ではなく、児童生徒が自ら主体的に社会的自立を目指すこととした。市教育センター設置規程の目的は、「児童生徒の自立と学校生活への適応を図りなが

今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

答 ら、学校への復帰に寄与する」とある。文部科学省の主旨と違うのではないか。

問 物価高騰下における学校給食について

答 文部科学省の通知と同様の考え方に基づいています。

問 ある小学校で、2月の給食献立が変更され、4回おかずが1品少なくなった。食材高騰で給食費が厳しい。市は支援をすべきではないか。

答 国の動向も見ながらとなりますが、今のところは考えていません。

循環型社会の構築について

問 蓮田白岡環境センターでは、不用品の持ち込みや回収を行い、エコプラザで渡す。また株式会社ジモティーと連携し、不用品の近隣住民とのマッチングを行っている。全国の200以上の自治体、県内では21の自治体が株式会社マーケットエンタープライズと協定を締結し、不用品のリユースを推進している。提携は予算ゼ



蓮田白岡環境センター

答 口、回収、持ち込み職員の関与もない。出品者と業者の取引のみ。蓮田市も提携をしたらどうか。

問 調査をして研究していきたいと思



秦 邦雄（無会派）
災害時における市民の安心・安全確保について

問 避難所運営や避難所生活をする人々を考慮すれば、自治会ごとに避難所が決まっていることのメリットは大きい。他市には事例もあることから、市が主体的に避難先を決めるべきでは。

答 まず自治会内で情報共有し、取り組みを進めてもらえないか研究したいと思

問 福祉避難所数については、昨年3月の私の一般質問において不足しているとの答弁があり、その後、2か所増えた。

現状は。

答 いまだ不足しており、福祉避難所の確保等に努めていきます。

問 個別避難計画の作成に同意していない人数は、同意している人の約2倍のことだが、発災時には自治会等へ全名簿の提供が可能となる。人数規模だけでも事前に伝えるべきと昨年3月の議会で提案したが、その後の検討状況は。

答 来年度、説明会等の場で対応したいと考えています。

問 防災に関する周知については、広報はすでに毎月「防災コーナー」を設けて積極的に行うべきでは。

答 広報はすだやホームページ等さまざまな方法が考えられるので、研究したいと思

防災士の更なる活用について

問 防災士資格取得のための市補助金の交付実績は。

答 女性2人を含む17人で、総額約104万円です。

問 避難所運営者側の女性不足等に対応するため、女性の防災士育成に力を入れるべきでは。

答 女性防災士が増える方策について、調査・研究をしていきます。

問 市内に100人以上いると推計される全ての防災士を対象として研修や活動の場を設けるなど、防災士の更なる活用・活躍への取り組みの考えは。

答 現時点では考えていませんが、それらを実施するメリットについて研究していきます。



武藤 康史(市民クラブ未来
選派的夫婦別姓につ
いて

問 法制化された場合、必ず親子別姓が
発生するが、これが保育・教育現場に
与える影響は。

答 現状でも旧姓の通称使用の事例はあ
り、慎重に対応しています。今後も園
児が混乱したり、いじめ等につながら
ないように、お迎え時等の呼び方など
に配慮して
いきます。

問 別姓増加に伴い、本件に対処する保
育士の精神的負担増が予想され、成り
手不足につながる懸念があるが、こ
れら課題への現場での意識共有につ
いては。

答 特に配慮を要する乳幼児を抱える保
育現場で、さまざまな事例が起きた際
への対応を議論・共有しながら取り組
んで
いきます。

問 戸籍を守りつつ旧姓使用できる環境
整備を行うことがまず重要と考えるが、
市長の本問題への考えは。

答 法制化されれば、市として国の方針
に沿って粛々と対応していきたいと考
えています。

令和7年度以降の事業構築について

問 PPP/PFIを優先的に検討する
規程の整備と制定後の流れは。

答 規程制定後は事業費10億円、単年度
運営費1億円以上の事業を対象とし
て、職員が検討し、必要な場合コン

サント委託等を行います。

問 公共施設のLED化について未対応
分を一気に進める考えは。

答 一括LED化の手法が可能か、横断
的に計画実行する部署をどうするか等
について、検討・調整を行います。

問 電算業務委託費について、システム
標準化後に運用コストは下がるのか。

答 国の説明では、2018年度比較で
コスト3割減を目指すとしています。

問 ベンダーとの交渉をより強く進める
ために、民間ICT事業者等のアドバ
イザーを導入する考えは。

答 費用面等を含め、慎重な対応が必要
と考えています。



豊嶋 遥(はずだ政和会)
充電インフラの整備
について

問 公共施設への整備について現状は。

答 蓮田市内の公共施設において、市民
または事業者が利用できる電気自動車
の充電施設はありません。

問 近隣市町の状況は。

答 白岡市では公共施設内に7か所、伊
奈町では1か所に設置されています。

問 普通充電・急速充電の充電器を
設置する際の費用は。

答 電気自動車の充電設備設置等を取り
扱っている業者に伺ったところ、設置
費用や設備工事にかかる費用は普通充電設
備で約130万円、急速充電設備で約
1000万円です。

問 充電インフラ整備に関する国の補助
金はあるのか。

答 一般社団法人次世代自動車振興セン
ターが交付している充電設備・V2H
充放電設備・外部給電器補助金があり
ます。

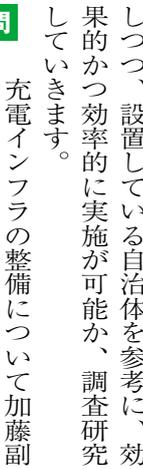
問 公共施設へ電気自動車用の充電器を
設置してはいいかがか。

答 電気自動車用の充電器の設置につ
いては、蓮田市第2次環境基本計画や蓮
田市第5次地球温暖化対策実行計画(事務
事業編)において、電気自動車の普及は温
室効果ガス(二酸化炭素)排出量削減の観
点からも重視すべきものです。各公共施設
の設置スペースの確保や必要電力量が現在
の設備で確保することが可能なかを調査
しつつ、設置している自治体を参考に、効
果的かつ効率的に実施が可能か、調査研究
してまいります。

問 充電インフラの整備について加藤副
市長に所見を伺う。

答 充電インフラの整備は、電気自動車
の更なる普及を加速させ、環境への配
慮、とりわけ温室効果ガス排出の削減や大
気汚染の軽減として効果があると捉えてい
ます。

問 ※ほかに、生理用品について質問。



山田 孝夫(公明党)
小・中学校の防犯
策について

問 小・中学校の防犯マニュアルは。

答 危機管理マニュアルとして各校で、
児童・生徒の安全確保を最優先に作成

しています。

問 防犯機材として防護盾・ネットラン
チャーの導入はいいかがか。

答 警察や外部の専門的な知見を踏まえ
て教育現場における効果を研究してい
きます。

問 防犯カメラについて

問 個人宅の防犯カメラの設置費用助成
の経緯は。

答 犯罪の多様化で個人宅を対象の強盗
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
を活用し、補助制度を実施するもので
す。

問 費用助成の要件・規定は。

答 戸建て住宅に対し、防犯カメラ、画
像データ記録装置、設置部材購入費や
設置費用を補助対象とし、補助率2分の1、
補助額を1世帯、家屋1棟3万円を上限と
考えています。

問 補助の申請件数の見込みは。

答 250件を見込んでいます。

問 蓮田駅前広場への設置は。

答 現在、防犯目的のカメラを設置する
考えはありませんが、今後の課題とし
て研究していきたいと考えています。

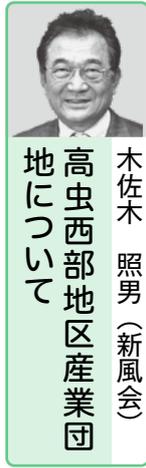
問 警察署の誘致について

問 取組み状況は。

問 毎年、埼玉県に対して、「警察署の誘致について」の要望を行ってまいす。昨年度は「県下の治安情勢や人口推移、交通網、各警察署の管内情勢等を総合的に勘案して検討」との回答を得ています。

問 警察署誘致に対する市長の所見は。

答 市民の安心・安全のために必要であり、重要です。岩槻警察署等関係者の皆様のご協力をいただきながら、前向きに進めていきたいと考えています。



木佐木 照男(新風会)
高虫西部地区産業団地について

問 企業の立地希望に対する蓮田市の考えは。

答 高虫西部地区における企業誘致は、土地区画整理組合が主体となって進めています。市としても本地区の発展が市の活性化に大きく寄与するものと認識しています。組合と連携しながら、市の総合振興計画、都市計画マスタープランに掲げる基本方針に沿って都市計画を決定し、用途地域及び地区計画を定めています。

問 現在、企業の立地候補者数は。

答 現時点で高虫西部地区への立地に興味を示している候補企業は17社です。

問 下水道整備の進捗状況は。

答 公共下水道への接続について埼玉県や関係する市との協議を行い、蓮田市

上下水道事業審議会や蓮田市都市計画審議会への諮問、答申を行い、下水道法による「中川流域関連及び荒川左岸北部流域関連蓮田公共下水道事業計画」と、都市計画法による「蓮田都市計画下水道事業計画」の変更を行って、令和6年度中に完了する予定です。

障害者支援施設の整備について

問 進捗状況は。

答 施設を整備する事業者公募を行い、令和6年7月31日に社会福祉法人ルピナス会に決定しました。ルピナス会では国庫補助金を活用して整備をする予定のため、国庫補助金の採択に向け、市とルピナス会で打ち合わせを実施しています。

問 今後の予定は。

答 埼玉県へ提出する令和8年度整備分の国庫補助協議書の提出期限が令和7年7月のため、ルピナス会では現在、国庫補助協議書の作成を行っています。国庫補助が採択された場合、令和8年8月頃に国から交付決定があり施設整備工事に着手することとなります。



近藤 純枝(はずだ政和会)
2025年問題における高齢化課題と対策について

問 蓮田市において在宅介護を受けている人数は。

答 ケアプランの作成人数は、令和6年12月で1780人です。

問 市内の介護支援専門員の人数と担当件数は。

答 居宅介護支援事業所が17か所で、支援員は46人、1人当たり44件です。

問 在宅介護の課題、問題点は。

答 介護者の負担は「夜間の排泄」が31・0%と最も高く、「認知症状への対応」が30・1%、「外出の付き添い、送迎等」が27・9%でした。

介護における不安は、在宅介護者の身体的、精神的負担につながっているものと認識しています。

問 介護支援について、市への相談方法は。

答 相談者のライフスタイルにあった相談方法を選べる必要があります。市内3か所の地域包括支援センター窓口、電話、訪問のほか、市ホームページのお問合せフォームから相談いただけます。

拠点校部活動について

問 拠点校部活動にした経緯は。

答 生徒数の減少に伴う各校の部活動数の減少によるもので、市立中学校に通う中学生が、個々の生徒の興味・関心に応じて部活動を選択できるようにするためです。

問 今後の地域展開の方向性と課題は。

答 部活動は、学校で行う教育活動ではなく、地域クラブ移行を目指してまいります。同時に文化部も含めて拠点校拡大を進めます。普段の学校生活では味わえない経

験や体験、多くの学びが得られ、専門性の高い指導者からの指導が可能になる利点があります。課題は、経費や指導者への謝礼、教員の兼業兼職、運営母体の整備、クラブ規定の整備、参加可能大会の充実などが考えられます。地域クラブ移行は、家庭や地域の理解・協力がなくては進められません。今後は子ども・指導者・地域にとって安定的継続的な取り組みとなるよう力を尽くしていきます。



諸根 善昭(日本共産党)
蓮田市下水道事業経営戦略について

問 蓮田市下水道経営戦略で示した使用料値上げの2つのシミュレーションは。

答 一つは、計画期間内で黒字を維持するために、令和8年度に下水道使用料を15%改定、令和11年度に15%改定するものです。もう一つは、独立採算制の原則に基づき、計画期間内に一般会計からの基準外繰入金をゼロにするために、令和8年度に下水道使用料を25%改定、令和11年度に20%改定するものです。

問 下水道は利用者の利便だけでなく、公衆衛生の向上に役立っている。そうした役割を踏まえて一般会計からの繰り入れを継続し、使用料の値上げはすべきではないと考えるが、どうか。

答 一般会計からの繰入金継続については、下水道課では必要に応じて財政課と協議していきます。

**水道用水の値上げを市民に転嫁しない
方策を**

問 水道用水値上げの影響は。

答 令和7年度と同量（634万2000m³）としますと、消費税込みで9038万5891円の増額となります。

問 水道用水料金の値上げに合わせた料金の改定はすぐに実施するのか。

答 現在、令和6年度から7年度にかけて策定している水道ビジョン及び経営戦略を精査したうえで、料金改定については考えていく必要があると捉えています。令和8年4月1日からの料金改定の実施は、突発的な事由がないかぎり、現時点で

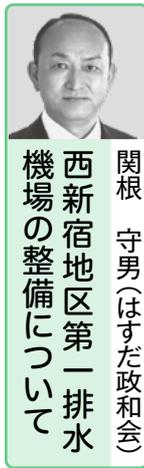


浄水場に入る県水の水管橋

は難しいと考えています。

問 物価高騰の下で、市民に負担を転嫁しない方策として、未処分利益剰余金の適切な活用もその一助となると考えるが、どうか。

答 現在策定している水道ビジョン及び経営戦略や今後の経営状況などを踏まえ、他市の状況や先進市の事例などを研究し、検討していきます。



関根 守男（はずだ政和会）
西新宿地区第一排水
機場の整備について

問 令和6年度に実施した雨水管検討業務の内容や検討状況について伺う。

答 懸案となっていた椿山からの雨水管の接続箇所を新設する水門の下流側の元荒川とすることで、県との協議が整いました。

問 令和7年度の進め方について伺う。

答 河川法に基づく県の許可を得るため、雨水管の詳細設計を行います。

高虫西部地区産業団地整備事業について

問 現状・完了時期について伺う。

答 令和6年7月から準備工事、埋蔵文化財発掘調査に着手しました。造成工事は令和10年度までの完了を見込んでいます。

問 固定資産税等の税収効果を伺う。

答 令和7年度から新たに都市計画税が賦課されることとなります。

問 路線バス延伸について伺う。

答 高虫地域の交通利便性の向上のため、朝日自動車株式会社と情報交換しています。

水道事業について

問 水道ビジョンの改定予定を伺う。

答 令和7年度中に改定する予定です。

問 漏水調査の実施状況について伺う。

答 毎年度調査を行っています。令和5年度では39件の漏水を発見しました。

問 管路更新と耐震化の進捗状況は。

答 重要管路更新の達成度は、令和6年度末で、約13・6%となる見込みです。

消防防災体制の充実強化について

問 常備消防・非常備消防の状況は。

答 高機能指令台・統合型位置情報システムを令和8年度中に更新する予定です。

問 岩手県大船渡市で発生した林野火災における蓮田市からの支援状況を伺う。

答 緊急消防援助隊埼玉県大隊として3月5日から10日までの間、消火小隊2隊8名を派遣しました。

問 女性隊員等の活動を後方から支援するトイレット付きの支援車両導入の考えは。

答 継続的に研究していきます。

問 消防団第1分団車両を更新する考えは。

答 使用状況から更新時期は検討中です。



齋藤 齊（市民クラブ未来）
災害用井戸について

問 去年1月大きな被害がでた能登半島地震では、断水が長期化した。災害時に飲み水として利用できなくても、洗濯・トイレ・風呂等の生活用水として被災者の生活の質の維持に役立つ井戸について、市で管理している数は。

答 散水や風呂用として、環境学習館・老人福祉センター等4か所です。

問 民間の数は。

答 市として全体数は把握していません。

問 有効活用の規定は。

答 地域防災計画で「市民が所有する井戸で、災害時に開放できる防災井戸の設置に努める」とし、民間井戸の所有者に開放を要請することが定められています。

問 すでに「さいたま市」にある登録制度を蓮田市に導入する考えは。

答 災害用井戸については、法人や個人の資産を災害時に活用させていただくもので、その所有者のご厚意により制度が成り立つものです。既に制度を導入している他市の事例や国のガイドラインなどを十

分参考にした上で、登録制度の構築に向けた検討を行ってまいります。

民生委員について

問 地域の身近な相談相手である民生委員の深刻な「なり手不足」の問題がある。全国で定員割れが生じ、令和5年度3月末時点で定数約24万人に対し約1万3000人の欠員が生じている。厚労省は100年以上の歴史ある民生委員制度も「なり手不足」という制度疲労を起し、制度のあり方そのものの検討に入っているようである。そこで「なり手不足」解消として公募方法の採用を検討しては。

答 公募が「なり手不足」解消の方法の一つであると認識しています。公募を実施している自治体の実施方法や効果、課題等を合わせて調査、研究してまいります。



深田 康孝（日本共産党）
戦後80年の節目に平和への理解を深める取り組みを求めて

問 今年が戦後80年の節目でもあり、昨年には日本被団協がノーベル平和賞を受賞。そして本市においても平和都市宣言施行40年を迎えて、改めて平和の大切さを市民と共有し深めたいと考える。本市の平和行政、平和都市宣言について

今年が戦後80年の節目でもあり、昨年には日本被団協がノーベル平和賞を受賞。そして本市においても平和都市宣言施行40年を迎えて、改めて平和の大切さを市民と共有し深めたいと考える。本市の平和行政、平和都市宣言について



平和行政を推進する市庁舎前の懸垂幕

の考えは。

答 本市は、「わが国は、世界唯一の核被爆国として、非核三原則を堅持し、

あの広島・長崎の惨禍を二度と繰り返さないよう世界に訴え続けていかなければならない」とする非核宣言自治体です。そして、平和憲法の理念・平和都市宣言の趣旨を踏まえ、現在行っている平和事業を継続して取り組んでまいります。

問 懸垂幕に毎年掲出している平和標語「子へ孫へたしかな平和ひきつごう」を広報はすだに掲載し、改めて広く周知しては。

答 平和の大切さ、命の尊さについて、今一度、市民に考えていただくよい機会であり検討してまいります。

問 広島市立基町高校の有志生徒が描いた世界に一つの「原爆の絵」の画像データ鑑賞を平和教育の一環として本市中学校・高校で実施しては。

答 市の教育研究会などへの情報提供を検討します。

問 ノーベル平和賞を受賞した被団協の田中熙巳さんや被爆体験者の講演実施についての市長の考えは。

答 若者が被爆者の声を聞ける最後のチャンスかもしれません。前向きに検討してまいります。

※ほかに、仕事と介護の両立支援制度改正を受けて、介護離職をさせないための取り組みについて質問。



鈴木 貴美子（公明党）
軽度認知障害（MCI）の早期発見と適切な予防介入について

問 MCIとは認知症の前段階で、認知機能の低下は生じているが、日常生活が支障なく送れているため、認知症とは診断されない状態。認知症の根治や発症予防については研究開発中だが、発症の遅延についてはエビデンスが蓄積されてきており、予防で発症を遅らせることで、有病率を減らすことができる。市民が気軽に使用可能な認知症事業の必要性については。

答 認知症に関する事業は、実施後、認知症予防の取り組みを継続することや、必要に応じて受診勧奨や個別支援につながるものが重要であるため、実施方法や内容などについて調査・研究が必要であると考えています。

日常生活用具給付等事業の拡充について

問 令和6年10月22日付けで、県から拡充についての通知文が出ている。給付等品目の拡大や対象者の拡大、利用方法の柔軟化についての考えは。

答 令和4年4月1日に要綱の改正を行い、9品目を新たに対象品目としまし

た。今後は、近隣市町の動向等も確認し、見直しを検討してまいります。対象者の拡大候補とされているかたについては、要綱ですでに給付対象者になっています。利用方法については給付と貸与を選択できますが、ここ数年は貸与を選択するかたが多い状況です。

誰もが安心して搾乳できる環境づくりについて

問 搾乳は母乳の分泌量を保つだけでなく、乳腺炎、糖尿病や高脂血症などの発症リスクを軽減し、子宮の回復を促す効果がある。低出生体重児の母親や、早期に職場復帰したかたなど、外出時に赤ちゃんを連れていないので、搾乳のために授乳室を利用することをためらうことがある。赤ちゃんを連れていないお母さんでも、安心して授乳室を利用できる環境づくりは重要。「搾乳できます」マークを掲示するのはいかがか。

答 授乳室を搾乳でも利用できる旨の掲示について県から依頼があり、実施に向けて準備を進めています。



菊池 義人（市民クラブ未来）
下水道、雨水管の老朽化について

問 下水道、雨水管の老朽化の状況は。

答 市内の污水管では一番多い管の口径は250mm、材質はヒューム管、総延長は約7kmです。次に雨水管については、一番多い管の口径は900mm、材質は

ヒューム管、総延長は約1・5 kmです。

問 市内に県が管理する下水道管はあるのか。

答 白岡幹線、伊奈幹線があります。口径は1350から1800mmの管が白岡幹線約3・4 km、伊奈幹線3・6 kmです。この2つの管が合流した先の岩槻幹線が蓮田市内に一部入っていて、2700mmの管が約100mあります。

問 県が管理する下水道管の状況は県に確認しているか。

答 県から直径2000mm以上の管については、調査点検を行い問題はなかったと伺っています。

中道公園グラウンドの雨水対策、バックネット及びベンチの設備について

問 設備の現状と今後の予定は。

答 グラウンドがへこんだ場合は、利用者に、グラウンドの端に仮置きした市が購入した砂を、へこんだ部分に敷きならしてもらっています。バックネットの現状については、バックネット下部に穴が開いていて、ボールがバックネット裏に飛び出してしまふ状況です。市では直近数年間で数回修繕を行っていますが、劣化により穴が開いてしまったもの以外に、人為的にネットが切られている状況もありました。ベンチの現状については、プラスチック製の座面の一部が破損している状況です。

今後の予定は、他の公園の劣化したベンチの修繕と調整を図りながら、座面の修理・交換などを行っていきます。



関根 香織(はずだ政和会)
蓮田駅東口周辺のまちづくりについて

問 区画道路2号(駅前ロータリー内、南側に接続する市道)については、新築マンションの建設により、車両の通行量増加が想定されるが、現状、車両のすれ違いが困難な幅員(3・5m〜4m)であり、一方通行にすること等の検討も必要であると考ええる。

また、マンションからの車両の出庫時、車両は駅前ロータリー方面に出庫する予定となっているため、駅前広場の歩道を横切る車両の増加が懸念される。このため、通勤ラッシュの時間帯の歩行



蓮田駅東口駅前の市道1012号線(区画道路2号)

者の安全対策や、朝晩や雨の日の駅前ロータリーの渋滞緩和策が必要であると考え、市の対策は。

答 蓮田駅東口周辺地区地区計画において、区画道路2号の幅員を5mと定め、土地利用に合わせて順次整備を行う予定であり、現時点では一方通行とすることは考えていません。警察や市民の要望を踏まえ、状況に応じて検討します。

歩行者の安全対策としては、令和10年度までに駅前広場の歩道部分をカラー舗装し、ドライバーへの注意を促すことで安全性の向上を図ります。雨天時等の渋滞は課題と認識していますが、駅前広場のレイアウト変更は難しいと考えます。

問 駅前ロータリーの整備については、のくぼ通りのような単色のカラー舗装ではなく、タイル調に見えるデザインや路面ペイント等を施して、まちなかウォークブルの趣旨にあった整備をお願いしたいと思うがいかがか。

答 今年度、実施設計を行い、今後は歩道整備工事の予算を確保し、駅前広場にふさわしい色合いやデザインを取り入れたカラー舗装とする予定です。



榎本 菜保(日本共産党)
小中学校体育館へ人と地球に優しいハイブリッド型輻射式エアコンを

問 中学校体育館への「大風量スポットエアコン」設計費用が提案された。選定理由は「コスト」と「施工期間の短さ」であったが、まずは「人へどう作用するか」との観点が必要。先進地視察で比較し

た結果、子どもたちの教育環境を整えるだけでなく、避難所としても適した、人の健康面や地球に優しく省エネ度の高い輻射式パネルと事業用パッケージエアコンとの「ハイブリッド型輻射式エアコン」を提案するがいかがか。

答 大風量スポットエアコンの長時間連続運転時には、健康面に対して一定の影響が及ぶこともあると考えますが、運用の工夫により影響を最小限に抑えられると考えています。

いつまでも街に桜の風景を

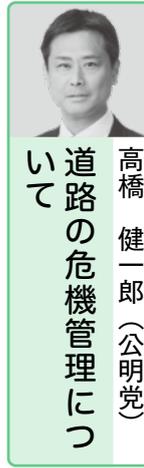
問 年老いた桜の木が増え、そこに寄生するベッコウダケの影響で内部が空洞になり、倒木の危険がある桜が増えている。これから先の未来も蓮田にずっと桜の風景が残るよう、桜の伐採時には代替りの木の植樹を行い、市民の有志が桜の保全や再生に取り組み「桜守」の活動を進めてほしいかがか。

答 未来に残していくため、地権者である県との協議を行いながら、しっかりと桜を守っていきます。

ふるさとはずだ遺産の活用を

問 以前の一般質問で「疎開保育園の史実を後世に伝え、誇りあるふるさとづくりを」と求めた。この「ふるさとはずだ遺産」の制度が新年度から始まることとなり、記録や記憶が認定されることで新たな市の魅力・発見につながり、ふるさとへの愛着も増すものと考えられる。認定の権限を有する教育長はどのような活用・効果を考えているか。

答 市の歴史文化資源として、例えば既存の文化財マップにふるさと遺産を追記しての情報発信、蓮田SAでのPR、市内小中学校へのパンフレット配布等、観光や教育分野で寄与する点が大きいと考えています。



高橋 健一郎（公明党）
道路の危機管理について

問 道路パトロールの際に、どの程度の損傷で緊急補修を必要とするのか。また、路面下空洞調査を行ってはいかがか。

答 周りの舗装面に対して極端なくほみがある場合は、路面下が空洞になっていることが考えられます。舗装面から測定器を突き刺して確認を行い、舗装を部分的に取り壊し、目視で空洞が確認された場合、緊急補修を直ちに施工業者に依頼しています。市民の安心・安全のため事故を未然に防ぐことが大切であり、今後、国・県からの調査基準に基づき、必要な調査を実施していきます。

交通施策について

問 蓮田松韻高校へのバス路線の延伸に伴う、仮バス停設置予定時期及び路線ルートは。また、乗り合いタクシーの導入をしてはいかがか。

答 3月5日付けで路線バス延伸に関して、関東運輸局から認可されていて、朝日自動車株式会社は3月中の運行開始を予定しています。「蓮田駅東口」及び「岩槻駅西口」のそれぞれのバス停から、「国

立東埼玉病院」を経由し、「蓮田松韻高校」の折り返し運転を予定しています。乗り合いタクシーについては、蓮田市は比較的バス路線網が充実していて、タクシー事業者3社が蓮田駅東西を起点に運行しドアツードアのサービスを提供しています。公共交通体系調査の結果を踏まえ、公共交通の今後のあり方について検討していきます。※ほかに市内の防災対応について質問。



3月定例会傍聴状況

月	日	会 議	人数
2	/ 19	本会議	0
2	/ 26	本会議 (議案質疑)	0
2	/ 27	本委員会 (総務)	1
2	/ 28	本委員会 (総務)	0
3	/ 3	本委員会 (民生文教)	0
3	/ 4	本委員会 (民生文教)	0
3	/ 5	本委員会 (建設経済)	4
3	/ 6	本委員会 (建設経済)	2
3	/ 10	本会議 (一般質問)	10
3	/ 11	本会議 (一般質問)	17
3	/ 12	本会議 (一般質問)	7
3	/ 19	本会議	2
合 計			43人

6月定例会は
5月30日(金)
開会の予定です

長野県松川町に視察

令和7年1月30日(木)から31日(金)に蓮田市議会として友好姉妹都市である長野県松川町を訪れ、「共生のまちづくり」・「観光を手段としたまちづくり」における取組を視察しました。「イクボス・温かボス宣言」、「女性模擬議会」、「女性政策サポーター」などの先進的な町議会における取組を視察するとともに町議会議員の皆様方との交流もできました。



議案の審議内容や一般質問などを詳しくお知りになりたい方は、市議会会議録がホームページでご覧いただけます。

会議録は、次の施設でご覧いただけます。

- 市役所行政資料コーナー
- 蓮田駅西口行政センター
- コミュニティセンター
- 農業者トレーニングセンター
- 図書館
- 中央公民館及び関山分館
- 勤労青少年ホーム

ホームページで会議録が閲覧できます

<https://www.city.hasuda.saitama.jp/>